

平成29年度 常置委員会だより N0.2

組織・連携委員会編

北海道PTA連合会

平成29年10月31日（火）発行

小樽大会全体会で常置委員会（組織・連携委員会）活動報告を村井委員長が行いました。

常置委員会は北海道PTA連合会の各25地区の会長、母親委員長で構成される委員会です。組織・連携委員会、教育・環境委員会、母親・広報委員会の3委員会があります。

私が担当します組織・連携委員会は組織、他団体や地域との連携、研修活動等に関することの調査研究を行っています。

その研究成果として、この小樽大会の第1分科会にて「防災に対する地域との連携」をテーマに奥尻町立青苗小学校PTA様、別海町立野付中学校PTA様に防災教育の提言をしていただきました。

これからも常置委員会の研究活動報告のひとつとして、この北海道ブロック研究大会の場を使っていきたいと思っています。

皆様のご協力のもと時代に合ったテーマを研究調査していきます。よろしくお願いいたします。

10月21日（土）に第2回常置委員会（第2回組織・連携委員会）が行われました。

議題を「平成31年度札幌大会分科会で発表する組織・連携委員会のテーマの絞り込み」として話し合いました。

(1) 発表PTAが決定するまでの過程について

- ①（前回会議での決定事項）札幌大会の組織・連携委員会のテーマについて、大きな方向性として『PTAのあり方』でいくということが確認された。
- ②（本日の議題）「PTAのあり方」という大きな方向性の中で、具体的なテーマの絞り込みを行う。
- ③（次回委員会の取組）具体的なテーマが決定した後、28年度のアンケートからそのテーマに沿った特長的な取組をピックアップする。また、アンケートからだけでなく、委員さんの知っているよい取組があればあげる。
- ④（以下、次年度以降の取組）ピックアップされた取組について、より詳しく知るために該当PTAにアンケート調査の協力依頼をする。
- ⑤ そのアンケート結果を基に協議し発表PTAを決定する。

(2) テーマの絞り込みに係る意見交流

- ア コミュニティースクール（以下、CSと表記）の進んだところの話。PTA委員のなり手についての話。
- イ PTA活動にどれだけお父さんを取り込めるか。一般の先生方とPTAのつながりをどうしていくか。CSとPTAの係わりについて。
- ウ CSと防災の係わりについて。
- エ PTAの参加体制をどうするかに係わり、PTA組織体制のあり方について聞きたい。
- オ 役員の決め方をテーマに取り上げたい。道内各地には様々な取組があるのではないか。
- カ CSに係わりアドバイザーから色々話を聞きたい。
- キ CSはやっているが、始まったばかりで今はよく見えない。
- ク 組織の維持・活性化させるやり方。PTAの初めての方にPTAのことを理解してもらうために説明する機会をもつようになっている。
- ケ CSは地域差がある。単Pの組織は男性ばかりになってしまった。
- コ CSについて、特に先進的な取組について知りたい。

(3) 役員のなり手に係る実態交流

- ア 次期会長は、現会長指名によって決まる。
- イ 一本釣りで決める。
- ウ 地区割で決める。
- エ 選考委員会体制が整っている。
- オ 市役所枠がある。



(4) テーマの絞り込みと次回までの依頼事項について

- ① 本日の話し合いを基に、テーマを次のように絞り込む。

「これからのPTAのあり方」

- ・コミュニティースクールとPTAの係わりについて
- ・役員の決め方について

- ② 12月2日の第3回常置委員会（第3回組織・連携委員会）までの依頼事項

「上記のテーマについて、アンケートから特長的な取組をピックアップしてくる」

北海道PTA連合会事務局

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目 共栄火災ビル7階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp